

会議の名称	平成22年度第4回 鳥海地域協議会
開催日時	平成23年3月25日(金) 午後1時30分～
開催場所	由利本荘市鳥海総合支所 講堂
出席者氏名	地域協議会 名簿のとおり
欠席者氏名	〃
(会議次第) 1. 開 会 (菊地振興課参事) 2. 会 長 挨 拶 (松田会長) 3. 協 議 議事進行：松田会長 (1) 地域づくり推進事業について ①平成22年度実績について ②平成23年度選考結果について (2) 東北地方太平洋沖地震について (3) その他 4. 総合支所長 挨拶 5. 閉 会	
会議の経過	別紙のとおり

◆地域協議会 名簿

(委員20名)

議会議員、本庁及び総合支所

区 分	氏 名	区 分	氏 名
地域協議会委員	佐藤 久幸	【市議会議員】	高橋 和子
地域協議会委員	佐藤 重一		佐藤 譲哥
地域協議会委員	眞坂 孝衛		
地域協議会委員	柴田 恭一		
地域協議会委員	佐藤 勝藏		
地域協議会委員	佐藤 敬助		
地域協議会委員	佐藤 一太郎		
地域協議会委員	鈴木 充	【総合支所】	
地域協議会委員	周防 彦宗	総 合 支 所 長	土田 修
地域協議会委員	佐藤 明美	振 興 課 長	佐藤 秀孝
地域協議会委員	三浦 俊雄	主 幹 兼 産 業 課 長	佐藤 傳一
地域協議会委員	松田 訓	市 民 福 祉 課 長	佐藤 恵一
地域協議会委員	池田 由身	建設課長兼水道事務所長	佐藤 幸生
地域協議会委員	佐藤 貴子	教 育 学 習 課 長	佐藤 寛栄
地域協議会委員	高橋 美幸	鳥 寿 苑 施 設 長	佐藤 利和
地域協議会委員	三森 宏美	診 療 所 事 務 長	村上 一弥
地域協議会委員	高橋 馨		
地域協議会委員	鈴木 誠		
地域協議会委員	眞坂 好喜		
地域協議会委員	藤山 信夫		
		【事 務 局】	
		振 興 課	菊地 健
			佐藤 則亮

(会議の経過)	
第4回 鳥海地域協議会	
平成23年3月25日(金) 午後1時30分 開会	
菊地振興課 参事	【開 会】 はじめに松田会長より挨拶を申し上げます。
会長	平成22年度から地域づくり事業という事で地域協議会が引き受け、何度も会議を重ねながら進めて参りました。各委員の皆さんには指導という立場で支援していただき、お礼申し上げます。今日は22年度の実績と23年度の選考結果について報告をしていただきながら進めて参りたいと思います。それではよろしくお願いします。
菊地振興課 参事	それでは協議にはいります。 協議の議長は、地域の設置に関する条例第9条第4項の規定により会長を務めます。
議長	それでは地域づくり推進事業の平成22年度実績及び平成23年度選考結果について説明をお願いします。
菊地振興課 参事	(1) 地域づくり推進事業 ①平成22年度実績について 説明 ②平成23年度選考結果について 説明
A 委員	観光案内整備事業について、当初支援額が20万だったものが、申請額が8万2千円になった内訳を教えてくださいませんか。
菊地振興課 参事	ロード案内パネル製作費が8万1900円、それに取り付け費と振込手数料が加わって、事業費の合計が8万4290円となっております。
A 委員	目的は達成されたという事でよろしいのですね？
菊地振興課 参事	はい。
副会長	選考結果について、5番と9番が査定額ゼロという判断ですけれども、これによってそれ相当の金額を何かに充てる事が出来るのか？
佐藤振興課 長	資料4に支援額(案)の合計が372万とありますけれども、トータル300万円以内という事で、先般の選考委員会を実施事業が決定されております。
B 委員	申請があつたが支援しない団体には連絡して納得してもらっているのか？
振興課長	査定結果は、本日の会議を経たうえで連絡いたします。
C 委員	昨年の12月に市長は、本来予算を採ってやるべき事業が、同じことをやる継続的な事業はあまり好ましくないというような事がありました。その辺はどのように考えて審査したのでしょうか？それから、首都圏で鳥海の特産品を販売するのは良い事だと思うのですが、それが鳥海の地域づくり事業の本来の姿なのでしょうか？
議長	22年度に事業をやって、23年度も継続したいという希望が強かった申請の中にはあったので、それを認めたという事です。

佐藤産業課長	首都圏での鳥海特産品販売促進及び市場調査について説明させていただきます。この事業は21年度には県の単独補助事業で実施しておりました。その際には半分以上が職員旅費で、21年度でその事業は終わるという事だったのですが、東久留米の人たちが鳥海地域の特産品を待ち望んでいるという声があり、地域づくり推進事業で実施した訳ですけども、当日会場には4千人近くの地域の方に集まっていたいて、持参した商品は全て完売しております。その中でアンケートを実施したところ、ぜひ毎年来てもらいたいし、PRしてほしいとの声が非常に多かったようです。その波及効果についてであります、21年度においては電話等での注文がおおよそ190件、150万ほど売り上げが伸びているという事のようにあります。22年度は電話による注文が240件、250万ほどの売り上げが見込まれたという事で、当然地元の方が作った物を販売している訳でありますから、地域づくりに貢献したものと考えております。
土田総合支所長	リピーターが増えているという事でいいのか。
佐藤産業課長	はい。
A委員	伝統行事の継承による地域おこし事業、これまで冬に行われる事業が少ない中で頑張った事業ではないかと思えます。これまでも企画は行いながら小規模だけれど実施した経緯があり、道の駅が完成し、規模を拡大してきた。その地域のまとまりを作ったというのは正に地域づくりではないかなと思えます。今日の魁新報の中で被災地にいち早く駆けつけて炊き出しを行ったと、それもおそらくこれらに使った機材を持参したのではないかなと思いました。今回私は特に伝統行事の継承による地域おこし事業については頑張っていってほしいし、笹子という名称はついておりますが、由利本荘市一本化した中でPRも含めて鳥海地域の方々が一イベントに積極的に参加するように頑張っていただきたい。
D委員	A委員から力強いお言葉をいただき、ありがたく思います。笹子は人が少なくなったなと感じたし、反省点も多々あった訳ですが、こういう頑張りに対して市も支援金だけでなく参加もしていただきたい。笹子の冬まつりという事で定着させたいと思います。
議長	先ほど資料4の5番と9番について事務局から説明がありましたが、特に5番については宗教色が濃いという事情で支援から外しました。9番につきましては、市の関係の土地であれば補助も市だが、いろんな事情を勘案して、今回は認めないという事にした訳です。4番の環境美化活動につきましては、全く集落とは関係ない道仏坂付近の花壇です。更に6番の観光アケビ園はEさんがいらしておりますので、希望や抱負をお話いただければと思います。
E委員	一昨年100坪、昨年60坪ほどに5～6メートルのものを山採りしてきて、1メートル四方の穴を掘って植えています。一昨年植えたものについては、着果率が98%くらい、秋に植えたほうが着果率が高いという事で、秋採りして植えています。春に採れるのは、雪が消えてから5月中旬から20日くらいまでで、暑くなると着果率が低くなります。植えた年はほとんど枝を詰めてまして、要するに根っこを切った分上の方を付けておくと生きるのに難儀するという事で、上の方もほとんど詰めて坊主状態にしています。一昨年植えた分は、昨年の秋に大分花芽が出ました。ただ、今年の雪害で、配線はしてあるのですが全滅したので、雪が消えたら線を張り直します。一昨年も昨年も山採りした蔓で冬場にアケビ細工をやっています。高齢者は家の中に閉じこもりがちになるが、かごの作り方教えてくれと声を掛け合ったりしてワイワイやっています。一昨年はランプシェイドを作って有楽町の駅前にあるアン

	テナショップに狭いスペースを借りて3つほど2ヶ月展示してもらいました。高かったのか、場所が悪かったのか、販売するには至りませんでした。1人1個くらいでランプシェイドたくさん作りました。昨年も60坪に植えたのですが、そこもやはり雪で線が切れているので、それもやり直したいと思います。今年もまた道路沿いに植える予定で、これに実がなってくれば今まで素通りしていた車もアケビになってるな～という感じで停まってくれるのではないかと思います。町内が活気づいた事は確かだと思います。行く行くはアケビの調理の仕方、あとは種から油を絞ってみようという事でそれらもやっていきたいと思っています。
議長	アケビ栽培の指導はどちらから？
E委員	指導は、山形のアケビ農家から。
議長	他にご意見、ご質問等無ければ23年度はこれで頑張ってもらおうという事でよろしいでしょうか？ 【異議無し】
議長	実はもう一つ課題があって、22年度の実績報告書が本庁に上がって行きます。そこでこれがいいとか仕分けされる可能性がある。補助金の交付要綱がありますので、それに従って進めていきたいと思っています。 次に東北地方太平洋沖地震について、よろしくお願いします。
佐藤振興課長	3月11日発生の東北地方太平洋沖地震では、由利本荘市でも震度4を観測しております。本地域の被害につきましては、停電により通信が途絶えた事、これが最大の被害と捉えております。本庁の所管は危機管理課で、高齢や一人暮らしの方で電気が無ければ暖をとれない方については、紫水館または直根・笹子公民館に参集いただくよう指示がありましたが、こちらの施設は電気が無くても暖をとれる設備が無く、行政協力員の皆さんに集落会館に反射式ストーブ等をお持ちよりいただき、そちらに避難いただくという対応をさせていただきました。鳥海総合支所には情報収集と庁舎警備を兼ね、4名が待機いたしました。停電によるろうそく等の発災の恐れがありましたので、各消防の分団には火災予防の啓発活動を行いました。翌日は班長以上の職員が情報収集のため、支所で待機しました。午前9時40分に伏見、下川内、伏見沢、八木山、猿倉、オノ神で電気が復旧しております。その後、午後5時50分には上川内、小川、大川端、吉谷地、一部を除く笹子地区で電気が復旧いたしました。午後7時8分には西久米、皿川が復旧、直根地区は午後9時前には復旧しました。市全域で停電が復旧したのが午後9時14分という事です。3月13日には班長以上の職員が情報収集のため待機しておりました。3月15日と3月16日には計画停電の広報活動を行いました。計画停電は見送られる形となりました。3月17日には市民福祉課において被災地への支援物資の受付を開始しております。3月18日には、上伏見に岩手県大槌町から避難して来た家族がいる旨の情報が有り、聞き取り調査を実施しております。また、鳥海荘に被災地から避難して来た家族、5世帯18人がいる旨の情報が有り、こちらも聞き取り調査を実施しております。19日土曜日は、2名保安要員として待機し、被災者の受け入れ等の問い合わせに対応しております。3月22日には、市長が鳥海荘に被災者の見舞いに訪れています。また、鳥海地域の親類縁者を頼って避難して来た方を支援するため、行政協力員に対し調査を行っております。地震絡みの原発事故に伴う被害者の受け入れについて、総合的に対応するために由利本荘市被災者支援本部という名称で設置されております。この地域においての避難者の状況は、現在把握しているところで、上伏見に1世帯、鳥海荘では帰った方や他の避難所に移られた方もおりますが5世帯16人、フォレスト鳥海には3世帯8人、上杉沢には2世帯3人と捉えております。行政協力員に対する調査、昨日の夕方時点では檜ノ木平に3世

	帯、才ノ神に1世帯1人、新町に1世帯という回答が来ております。回答が集まり次第、保健師と共に聞き取り調査にあたる場合があります。以上です。
佐藤市民福祉課長	支援物資・募金の受付状況について説明
議長	状況報告がありましたが、皆さんからご質問等があればお願いします。
A 委員	避難の状況について説明がありましたが、避難者を受け入れている公共施設に対する補助金を出す、市が上乗せをするという新聞報道がありましたが、由利本荘市ではどのようなになっているのでしょうか？今回の大震災は予想もしていなかった事態だが、同じ東北人としてなんとかしてあげたいが、報道にあったように内からはとても手が付けられない状態。秋田県は無傷のような状態の中で、もっと外から支援していくという体制が出来なかったのかなと非常に感じました。個人的にというのは難しい訳ですが、最初の支援は義捐金とか必需品、その後ボランティアに変わると思います。攻めの支援をしていく必要があるのではないかと感じます。
佐藤振興課長	市有の例えば鳥海荘であれば、県が1250円と市が1750円という扱いで、避難者負担はゼロになる予定です。民間施設のフォレスト鳥海だと県が2,500円、市が2500円。ただ、補助の対象となるのは着の身着のまま命からがら逃げて来た方という事になります。
土田総合支所長	気仙沼市に実家がある職員がおりまして、その職員は被災した現地に向かった訳ですが、その際に職員の有志から集めた支援物資を持参して被災地入りしました。また、笹子商店街などの皆さんによる現地での炊き出し支援もあったと、大変力強い支援があって良かったなと思います。実家の方は特に大きな被害は無かったという事ではありますが、支援の輪が広がるようにと思っております。
議長	避難されている方に含まれる小中学生が転校するという動きはまだ無いのですか？
佐藤教育学習課長	まだありませんが、上伏見に避難されている方はいずれは地元福島に帰りたいという事ですので保留になっております。直根小学校では少子化で子どもが少なくなっておりますので、どんどん受け入れて複式学級を解消したいと話しておりました。
議長	それでは、(3) その他に移りたいと思います。
佐藤振興課長	鳥海地域市民有償運送4月からの変更点、申告関係、雪害、選挙について
議長	今、コミュニティバスについて説明がありましたが、現在市で運営しているバスは土日祭日は運行しておりません。朝昼晩が難しいとすれば朝晩だけでも出来ないか、特に文化複合施設カダーレが完成すれば催し物が土日開催になると思うので、学生或いは交通手段が無い方が参加出来なくなる。この事について、地域協議会から文書で市長に要望を出しております。2月17日には地域公共交通会議があり、4月から西目でもコミュニティバスを運行し、土日祭日も朝晩は運行するという事になっております。私は会議で鳥海でも運行してもらえれば、矢島まで行けば由利高原鉄道があるので文化複合施設でのイベントにも参加出来ると申し上げております。
D 委員	雪祭りをやった時も日曜日で皿川線の運行が無く、若干人の集まりが悪かった。行事がある時だけでも運行してもらえればありがたいなと思います。

議長

その他のところで大変恐縮ですが、高橋議員さんから一言お願いします。

高橋和子市
議会議員

地域協議会の委員の皆様には、この地域の持続発展継続という事でご難儀をおかけしております。大変心強く思っております。そして会長さんには様々な会議に出席していただき、地域の実情について発言していただいております。私は地域協議会には必ず出るようにという気持ちで今まで活動しておりました。それはイコール地域の課題実情を認識する場だと思っておりますので、今後もよろしくお願いいたします。交通体系のコミュニティバスの事につきましては、土日運行について私も当局とお話してきました。一つ一つ皆様の課題に対し、一生懸命走るつもりでおりますので、何かありましたらご連絡いただきたいと思います。そして皆様と一緒に前に進むように地域発展のために頑張っていきたい。それから、震災についてさまざまなお話がありましたが、未曾有の被害で大変だという思いでございました。今日の新聞にも笹子の方々が現地に行って活動しているという記事を、大変嬉しく、心温まる気持ちで見ました。私どもに報告がありましたのは、震災があつてすぐ、由利本荘市の消防の方々が10名、宮古に入ったがご遺体があまりに多くて大変だったと、そういう状況の中での活動だという事でした。15日に東松山に行った方も、被災地に行きたいが道路状況が悪くなるとか行つたが、道中は目を覆いたくなるような光景だったという事でした。被災者の方々には頑張れではなく、耐えて努力していただきたいという思いであります。ボランティアというのは大切ですが、1週間、10日はボランティア出来るんです。しかし、今回は原発事故もあり、復興まで長い期間を要すると思います。国が先に立って細かい指示をしなければ動きはとれないと思いますので、私は国会議員の方々に手紙を出しました。なんとかそういう事で力を貸してほしい。これは国の力でやらなければ前に進まないからという事で、皆様には大変ご難儀をおかけすると思います。被災された方々がこちらにいらした場合は丁寧に対処していただきたい。学校でもあの書類、この書類とは言わないので、すぐ入れますよと、春休みだが体育館を使ってもいいですよという教育長からのお話もありましたし、保育園も利用してくださいとの事でした。話が前後してしまいましたが、この地域、皆さんが住んで良かったと思うような地域にするためにこれからもよろしくお願いします。

それから、29日に臨時議会があります。それに副市長の人事案件が出ます。本荘石脇の渡部慶一という方で、毎日新聞の編集次局長、秋田では支局長をされた方だそうです。藤原副市長と高校3年の時に同じクラスだったようです。そして、震災に関する補正の案件も出る予定です。村上副市長は3月31日で県庁に戻られます。

議長

課長さん方から連絡事項があればお願いします。

佐藤市民福
祉課長

住宅用火災警報機の設置助成事業、交通安全運動について

佐藤主幹兼
産業課長

鳥海荘の震災被害について

佐藤建設課長

鳥海山の春山除雪について

村上鳥海診
療所事務長

震災関係について

佐藤教育学
習課長

統合小学校について

佐藤鳥寿苑 施設長	震災関係について
議長	本日予定されておりました協議事項については、これで終了したいと思います。
菊地振興課 参事	最後に総合支所長より挨拶申し上げます。
土田総合支 所長	本日はご苦労様でございました。地域づくり推進事業関係ですが、市では２３年度も補助金交付要綱、実施要領等見直しをしながら引き続き行うという事になっております。ただ、この１年間の事業の検証結果を踏まえて地域全体に関係する事業になる事はもちろんですけれども、地域の皆さんから不満や疑問等の声が上がらないように推進しなければならないなと思っております。更には、この事業を実施するための財源につきましても、国または県の財源を充てるものではございません。住民皆さんからの税金でもって事業を推進するという事になっておりますので、地域づくりに活かすための事業であるという事を認識しなければ出来ないものでないかなと思っております。実施団体の自己満足で終わるような事のないように、実施にあたっては指導、助言等も必要でないかなと思っております。皆様からの更なるご協力をお願いいたします。 平成２３年度定期人事異動について説明
佐藤主幹兼 産業課長	私事ではございますが、昭和４６年６月に旧鳥海村の臨時職員として採用されて以来、鳥海村、鳥海町、由利本荘市職員として４０年間の長きにわたり働かせていただきました。地域の皆さんからの暖かいご支援をいただきながら、この３１日に定年を迎える事となっております。退職後におきましては、一市民として由利本荘市の発展のために微力ではありますが協力していきたいと思っております。今後もよろしくご指導お願い申し上げまして、簡単ですが退任の挨拶とさせていただきます。本当に長い間ありがとうございました。
佐藤市民福 祉課長	私からもお礼の言葉を述べさせていただきます。この度の人事異動で、４月より鳥寿支援課長を拝命する予定になっております。鳥海村事務吏員に任命していただいてから３０数年間鳥海地域でいろんな方々からご指導いただき、本当にありがとうございました。合併後も鳥海地域に重きをおいて仕事をしてきた訳ですが、今後はもう少し視野、見聞を広げてたいと思っております。由利本荘市においても少子高齢化が進んできている訳ですが、高齢者福祉は多岐に渡っており、今後の在り方について真剣に考えながら仕事を行っていきたいと思っております。地域協議会には２年間出席させていただきました。本当に長い間ありがとうございました。
菊地振興課 参事	これを持ちまして、第４回地域協議会を終了いたします。ありがとうございました。 (午後３時３０分 閉会)